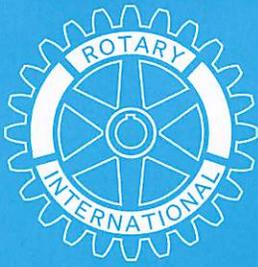


# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY  
名古屋  
ちくさ  
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 榎尾 富二  
幹事 大谷 恩  
広報・会報委員長 萩原 喜代子

No. 8

世界へのプレゼントになろう  
Be a gift to the world

2015 ~ 2016 年度

RI会長  
K.R.ラビンドラン

### 今日の例会

第1562回 平成27年 9月 8日(火)  
卓話 “御嶽山噴火災害における  
名古屋市消防局の活動”  
名古屋市消防局 消防部長 加納 利昭 様

### 先週の例会

第1561回 平成27年 9月 1日(火) 曇  
職場例会  
於：名古屋陽子線治療センター

#### ◆君が代

#### ◆それでこそロータリー

<治療室への配慮のためソング無し>

#### ◆ゲスト紹介

名古屋陽子線治療センター  
運営企画室 室長 門谷 章伸 様

#### ◆出席報告

会員 38(27)名 出席 19名  
出席率 67.86%  
前々回 8/18(修正出席率) 96.97%

### 大谷幹事報告

1) 次週例会終了後、理事役員会がございます。  
理事役員の皆様はご予約下さい

### 榎尾会長挨拶



本日は職場例会として名古屋市陽子線治療センターにお邪魔しました。

後ほど陽子線治療について詳しくお話しがあると思いますが、前座として現在の「がん」の状況について少しお話ししたいと思います。

昔はがん家系などという言葉も使われていましたが、今や2人に1人はがんに罹り、3人に1人はがんで死亡する時代になってきました。昭和56年よりがんが死亡原因の1位になっています。2位が心臓病、3位は肺炎、4位が脳卒中、5位に老衰となっています。

がんの中の死亡率は、肺、胃、大腸、膵臓、肝臓の順になります。男女別の罹りやすいがんは、男性は胃、前立腺、肺の順、女性は乳房、大腸、胃になりますが、早期発見、治療の進歩によりがんになっても治る率が高くなっています。

がんの治療には主に3つあります。まず第1は手術治療、昔は出来るだけ確実に期すためにがんを含めリンパ節など周囲も出来るだけ切り取る拡大手術が行われました。その後機能を出来るだけ残す温存療法、また傷口を少なくして快復も早い腹腔鏡手術も行われるようになってきました。第2には抗がん剤治療があります。昔の抗がん剤は副作用も強く効果も限定されていましたが、分子標的療法という目的のがんのみに行く物質に新しい抗がん剤を付けてミサイルのようにやつける治療も開発されています。第3が放射線治療です。X線は診断には良く用いられますが、治療には限定的です。コバルト60によるガンマ線も使われます。更に治療効果が高く期待されているのが陽子線、重粒子線による治療です。本日は最先端医療である陽子線治療についてお話を伺います。

人はがんに罹っても克服し、一生のうちに2つ、3つのがんに罹る時代になってきました。早期に発見し最良の治療を受けてがんを克服したいものだと思います。



### 舎人職業奉仕委員長挨拶

本日は職場例会のご出席ありがとうございます。

今回は名古屋市西部医療センター内にあります陽子線治療センターで、陽子線について運営企画室長の門谷様にお話を伺います。宜しくお願い致します。



#### 門谷様のご紹介

陽子線治療センター運営企画室

室長 門谷 章伸氏

#### <略歴>

H26年3月まで名古屋市総合リハビリテーション事業団 総務部長

主な関連施設：名古屋市総合リハビリテーションセンター、なごや福祉用具プラザ

H26年4月より陽子線治療センター運営企画室長

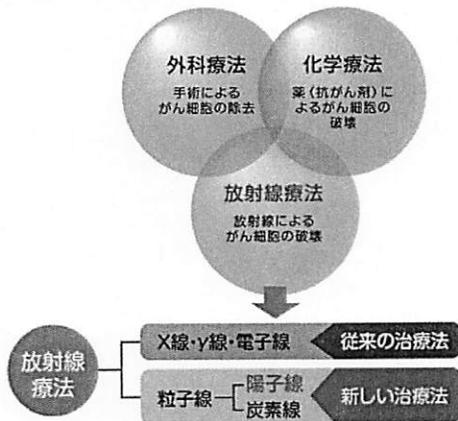
からだにやさしい「がん治療」の現実に向けて

◆陽子線治療について



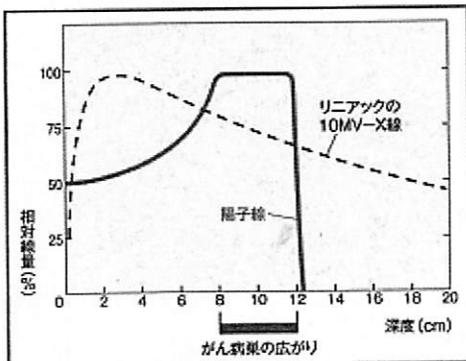
名古屋陽子線治療センター  
運営企画室長 門谷 章伸

がんの治療には、主に外科療法・放射線療法・化学療法があります。これらの中から、がんの性質、大きさ、病期や全身の状態などに応じて、治療法を選択、または効果的に組み合わせることで治療が行われます。放射線療法は、これまでX線やγ線、電子線を用いた治療が主流でした。陽子線治療はX線などと比較して優れた特徴を持っており、さらに高い効果が期待され、正常組織への影響を低減できるとして注目されています。陽子線は放射線の一種であり、陽子線治療は炭素線治療と同じく「粒子線治療」に分類されています



\* 陽子線治療とは

陽子線はX線と異なり、ある深さで放射線量が最大になり、それ以上先に到達しない特性を持っています。この特性はブラッグピークと呼ばれています。ブラッグピークを腫瘍に合わせることで、腫瘍に放射線を強くあて、正常組織にあたる放射線を減らせるので、X線で治療しづらいがんにも高い治療効果を期待できます。

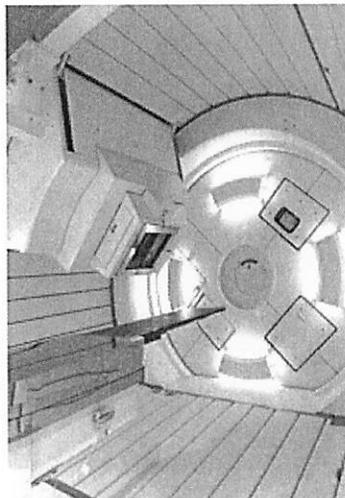


\* 陽子線治療の特徴

1. 痛みのない、からだにやさしい治療法
2. 正常組織への影響を最小限に
3. 身体の機能と形態を温存
4. 社会生活との両立、治療後の復帰に支障をきたしにくい

\* 陽子線治療装置

国内初の最先端技術「スポットスキャン照射」が可能な治療室が導入されています

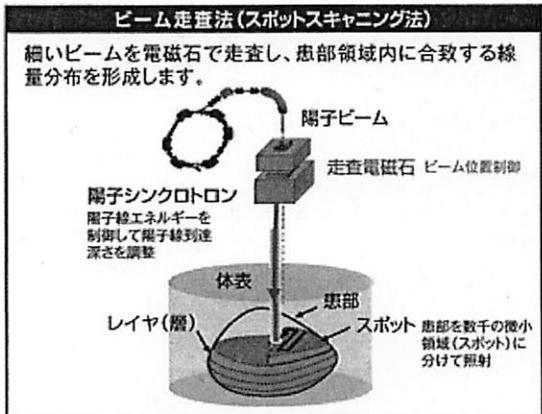


ガンアリー治療室  
360度、どの方向からでも陽子線を照射できる照射室

\* スポットスキャン照射とは?

細い陽子線でがんの部分塗りつぶすように照射する技術です。この技術により、がんの形に合わせた照射を実現し、さらに正常組織の損傷を抑えることが可能になります。

米国最大級のがんセンターでも採用された最先端技術です。



\* なぜ放射線でがんは治るのか

放射線が体内に照射されると細胞のDNAに傷をつけます。放射線によりDNAに損傷を受けたがん細胞は、そのまま死滅して増殖ができなくなります。様々な最先端技術を用いて、放射線ががん細胞に集めることで、周りの組織に影響を与えることなく、がん細胞を死滅させることができるようになります。

\* 陽子線治療料 (名古屋陽子線治療センター)

一つの治療部位に対する一連の陽子線照射につき  
一律料金 2,883,000円

※本日ニコボックスはございません

次回例会 : 平成27年 9月 15日 (火) 3階 錦の間  
卓話 会員 林 永芳君 “中華料理もよま話”